

NICHIBUNKEN KYOTO ACADEMIC BRIDGE

第 4 回

日 文 研 京 都

アカデミック
ブリッジ



THEME



京都の学を語ろう
～京都大学創立125年～

パネリスト：稲葉 穰（京都大学人文科学研究所 所長）

パネリスト：吉田 憲司（国立民族学博物館 館長）

パネリスト：井上 章一（国際日本文化研究センター 所長）

進行：光平 有希（国際日本文化研究センター 特任助教）

2022.3.9（水）18:00～20:00（開場17:30）
京都大学百周年時計台記念館
百周年記念ホール

主催：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター、京都新聞

後援：京都大学人文科学研究所、国立民族学博物館

協力：文化庁 地域文化創生本部



要申込

入場無料

定員250名

（抽選による）



THEME

京都の学を語ろう

～京都大学創立125年～

京で花開いた学問の系譜をめぐって、ゆかりの3機関の長、京都大学人文科学研究所の稲葉 穰所長、国立民族学博物館の吉田 憲司館長、そして日文研の井上 章一所長が、創立125周年の京都大学を会場に、「京都の学」を語り合います。

パネリスト 稲葉 穰

京都大学人文科学研究所 所長

1961年生まれ。京都大学大学院文学研究科東洋史学専攻修士課程修了。京都大学人文科学研究所助手、龍谷大学国際文化学部助教授、京都大学人文科学研究所助教授を経て教授。2021年4月より所長。専門は中央アジア史・東西交渉史。文明の十字路と呼ばれる、現在のアフガニスタン地域がどのようにして、文化接触と変容の場となってきたのかを大きなテーマとし、この地域にイスラーム教徒が到来する前後の時代(6～12世紀)を主な時代枠として、イスラーム、仏教、ヒンドゥー教などの宗教接触や、それとともなう文化変容と、政治勢力の消長の関連を明らかにしようと研究している。



パネリスト 吉田 憲司

国立民族学博物館 館長

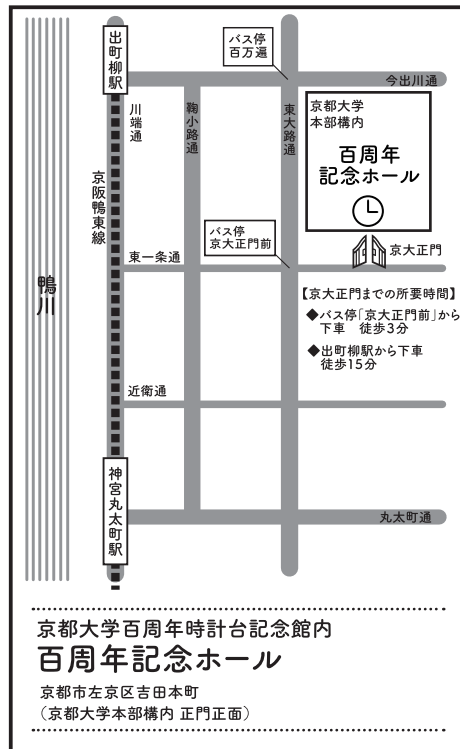
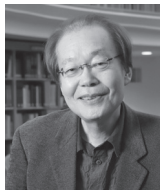
1955年、京都市生まれ。京都大学文学部卒業、大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了、学術博士。大阪大学助手、国立民族学博物館助手、同助教授、同教授、同副館長を経て現職。専門は博物館人類学・アフリカ研究。著書に、『宗教の始原を求めて—南部アフリカ聖霊教会の人びと』、『文化の「発見」—驚異の部屋からヴァーチャル・ミュージアムまで』、『文化の「肖像」—ネットワーク型ミュージオロジーの試み』など多数。



パネリスト 井上 章一

国際日本文化研究センター 所長

1955年、京都市生まれ。京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了。京都大学人文科学研究所助手、日文研助教授、教授を経て現職。専門は建築史、文化史、風俗史。86年『つくられた桂離宮神話』でサントリー学芸賞を受賞。『日本に古代はあったのか』『伊勢神宮—魅惑の日本建築』『京都ざらい』など著書多数。



参加申し込み方法

参加ご希望の方は、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、参加希望人数(複数名参加希望の場合は全員の必要事項)を明記の上、はがき、Eメールまたは右記応募フォームで下記までお申込みください。応募多数の場合は、抽選で250名に聴講券を送付します。



締め切り: 2022年2月25日(金) (必着)

〈はがき〉〒604-8567 京都市中京区烏丸通夷川上る
京都新聞COM事業推進局内「日文研—京都アカデミックブリッジ」係
〈Eメール〉 keikaku@mb.kyoto-np.co.jp
〈応募フォーム〉 https://kyoto-np.jp/_EXCAU3g

※応募者の個人情報、京都新聞COMが管理し、本事業の運営と日文研関連事業のご案内に使用させていただきます。また、会場の京都大学百周年時計台記念館事務室とも共有し、聴講者の中に新型コロナウイルス感染者が発生した場合、要請があれば保健所等の公的機関に情報提供いたします。

※本事業の取材を希望される方は、右記のアドレスにご連絡願います: keikaku@mb.kyoto-np.co.jp